刈谷市こども計画の進捗状況（令和７年度）

資料６

目指す姿と方針	自己評価		子ども・子育て会議の評価
	動向	内容	
「こどもが輝く社会を、こどもと共に考え・創造する」の基本理念のもと、「社会の主役は、こどもたちである。」との前提に立ち、子育てを家庭だけに任せるのではなく、社会全体でこどもの育ちを支援し、こどもが現在から将来に渡って輝きを放つ社会をこどもと共に考え、社会全体で創造することを目指します。 こどもたちが自身の考えを持ち、発信し、参画することで、社会に魅力や活力が与えられることを実感する機会を大切にします。	現行計画を着実に推進しつつ、社会情勢を注視し必要な施策がないか検討する	計画の初年度ということで、積極的に施策を展開できたと考える。特に基本目標１は本計画の中心的目標であり、市内６中学校でのこどもの意見聴取の実施や大学受験料等の補助事業を新規で実施するなど、先進的な施策を展開することができている。 基本目標２は、居場所づくりや教育・保育環境の整備の一環としての施設整備などハード面だけでなくタブレットの更新など各種事業を前に進めることができた。 基本目標３の安心して子育てできる環境整備は、従前計画から努めて行っているところではあるが、社会情勢やニーズの変化には敏感に対応する必要があると考える。少子化にかかわらず利用者が増加している放課後児童クラブや、保育園の待機児童対策も含めて、常に現状分析とその対策に努めていく必要がある。 基本目標４は、地域学校協働活動推進事業など地域との連携は進んでいるものの、本目標は仕組みづくりだけでなく啓発が重要となるため引き続き地道な取り組みが必要である。 その他、物価高が続く社会情勢を考慮した修学旅行費、教材費等の補助事業なども行っており、計画の方向性に従い着実に事業遂行できていると自己評価する。	□計画の趣旨に従い進捗している　（このまま進めてほしい） □概ね計画の趣旨に従い進捗している　（一部努力が必要である） □計画の趣旨に従い取り組みが行われていない　（かなり努力が必要である） 【コメント】

基本目標１　こども・若者の権利の尊重			内容
こども・若者を権利の主体として認識し、多様な人格を持った個人として尊重し、こども・若者の最善の利益を図る視点に立った施策・事業を推進します。また、若者が社会的な自立を果たし、充実した心豊かな生活を送ることができるように支援します。	新規	授業形式でのこどもの意見聴取	【目的】社会や刈谷市の現状を学び、将来について考えることができるきっかけをつくるとともに、その年齢・発達の程度に応じて自らの意見を形成し、表明することができるよう支援する。 【実績】市内の中学校に通う２年生の生徒を対象に学びの場を提供するとともに、授業形式の意見聴取を行った。　実施　6校
	新規	ヤングケアラーへの支援	【目的】ヤングケアラーの問題を早期に発見し、必要な支援につなげることができるよう、支援体制を強化する。 【実績】・支援者向けガイドブックの作成及び配布　・福祉関係者向けヤングケアラー研修の実施　・実態調査の手法の検討　・市内６小中学校において、試験的な実態調査の実施
	新規	こどもの生活・学習支援事業	【目的】貧困の連鎖を防止する観点から、経済的課題を抱えるひとり親家庭や低所得子育て世帯のこどもに対し、大学等受験料、模試費用の補助を行うことで、進学に向けたチャレンジを後押しする。 【実績】・こどもの進路チャレンジ応援補助金の支給　大学等受験料　48件　1,370,000円　大学等受験模試受験料　10件　79,300円　高校等受験模試受験料　9件　44,400円
基本目標２　こども・若者が健全に育つ環境の整備			**内容**
こどもが豊かな心と健康な体を育みながら成長するために、乳幼児期からの安定した人間関係の形成を保障するとともに、すべてのこども・若者が相互に人格と個性を尊重されながら、自己肯定感や自己有用感を高めて成長できるような環境の整備を進めます。	拡充	児童発達支援センター移転整備事業	【目的】しげはら園を移転整備することで、児童発達支援センターとして通園時の療育環境の改善、保育所等訪問支援及び巡回相談支援の充実を図る。 【実績】建設工事に着手した。また、新施設完成後のサービス提供時間の延長に向けた人員体制等の検討を行った。
	新規	城町図書館跡地施設整備事業	【目的】城町図書館跡地施設検討ワークショップ及び基本設計業務委託の結果を踏まえ、子育て世代や学生、地域住民が集い、歴史とにぎわいを感じられる交流の場となる施設を整備する。 【実績】　昨年度に実施したワークショップの意見及び基本設計の結果を踏まえ、実施設計を行った。
	新規	こども家庭センターを組織	【目的】母子保健機能・児童福祉機能の一体的な運営体制を向上させ、包括的かつ切れ目のない支援を推進する。 【実績】・支援が必要な家庭に対しサポートプランを作成し、必要な支援に繋げた。　サポートプラン手交件数　41件　・合同ケース会議　16回
基本目標３　安心して子育てできる環境の構築			**内容**
こどもの健やかな成長を期待し、安心して楽しみながら子育てできる刈谷市をめざし、家族だけでなく、事業者をはじめとする地域社会および行政が協力して「こどもの育ち」を支援する意識を持ち、こどもを生み育てやすい環境を構築します。	拡充	産後ヘルパー派遣事業	【目的】家事援助を行うヘルパーを派遣し、産後の母親の身体的、精神的負担の軽減を図る。 【実績】・利用期間を産後2か月以内から6か月以内（多胎児の場合は4か月以内から12か月以内）に延長し、多胎児の利用限度回数を30回から60回へ拡充　・電子決済の導入 ・利用者　37人　・平均利用日数　13.6日　・平均利用時間　33.9時間
	新規	私立保育所整備支援事業	【目的】私立保育所の整備に対して補助を行うことにより、民間事業者の積極的な保育所運営を促し、待機児童の解消を図る。 【実績】民間事業者が行う認可保育所（木の実乳児園）整備に対して費用の一部を助成した。
	拡充	子ども医療費助成事業	【目的】子育て支援として、子どもの健康保持と福祉の増進を図る。 【実績】・高校生世代の通院医療費を助成対象に追加（令和7年4月診療分から）　・年平均受給者数　23,943人　・支給総額　923,956,554円
基本目標４　社会全体での子育ての推進			**内容**
こどもは、家庭やこども同士の関係だけでなく、地域の人々、自然、文化と関わるなかで、豊かな人間性を身につけていきます。こどもを心身ともに健やかに育むためには、家庭はもとより、地域、学校、事業所、行政をはじめ地域社会全体が地域の様々な社会資源を活用し、それぞれの役割を担いながら、連携を図ることが必要です。子育てを地域社会全体で行う視点に立った取組を推進します。	継続	ファミリーサポートセンター運営事業	【目的】育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人を組織化し、地域における育児の相互援助活動を推進することで、働く人々の仕事と子育ての両立支援をする。 【実績】ファミリー・サポート・センターの運営、援助会員養成講座開催5回、依頼会員随時受付、25周年記念イベントの開催
	新規	放課後子ども教室音楽活動推進事業	【目的】小学校の部活動の終了に伴い、学校や地域と連携して楽器に触れる機会を創出し、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 【実績】放課後子ども音楽教室の実施　・実施校　７校
	継続	地域学校協働活動推進事業	【目的】地域と学校が相互に連携して地域ぐるみで子どもの成長を支え、次代の地域の担い手を育み、地域と学校双方の活性化及び子どもの学びや体験活動の充実を図る。 【実績】市内15小学校及び6中学校に、地域学校協働活動推進員を配置した。

関連指標

重要業績評価指標（KPI）	総計策定時 2022年 （令和4年度）	2023年 （令和5年度）	2024年 （令和6年度）	2025年 （令和7年度）	2026年 （令和8年度）	2027年 （令和9年度）	2027年 （令和9年度）	2028年 （令和10年度）	計画目標値 2029年 （令和11年度）	（参考） 総計目標値 2032年 （令和14年度）
将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合	77.4%	—	77.6%	—					81.0%	83.0%
学校が楽しいと思う児童生徒の割合	90.0%	—	92.2%	—					92.2%	90.5%
子どもを生み育てやすいと思う市民の割合	86.3%	—	81.6%	—					90.0%	90.0%
地域活動やボランティア活動が活発であると思う市民の割合	55.4%	—	55.2%	—					59.0%	61.0%